



エントランスの正面にあるキッチン

COMCEPT

自社オフィスの増築計画、そのコンセプトとなったのは「共有」だった。空間を共有し、社員同士が顔を合わせ働けるオフィス、自然と交流が生まれるオフィス、その核となるのがキッチンである。社員や来客の自由な『団らん』スペース、そしてオフィスの象徴となる玄関『顔』として、新しい「キッチン」を計画した。

テーマ：B
S 造 2 階建て
オフィスの増築工事

オフィスの顔 + 団らん
= キッチン



2Fにあるダイニングスペース、社員の食卓となっている



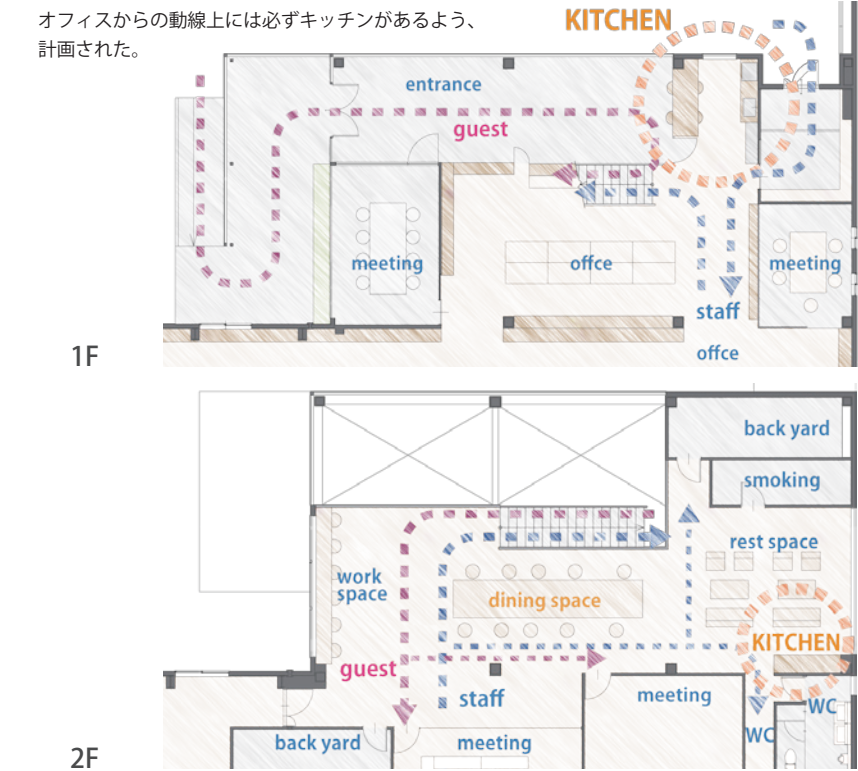
2Fのキッチンと、その前の休憩スペース

ABOUT

社員の世代や仕事の内容が多様化していく中で、いかに交流の生まれるオフィスにするかがテーマとなった。コンセプトは「共有」。縦割りだった部署ごとのデスクを1フロアにし、空間全体を共有する新たなオフィスを求めた。その中で、以前はオフィスの隅に閉鎖的にあったキッチンを、コーヒーを淹れたり、軽食を取ったり、休憩したり、社員の『団らん』の場の中心となるよう、プランを行った。また、会社のメインエントランス正面に「キッチン」があり、アットホームな社風や自然素材に対する会社のこだわり、これからの会社の目指すイメージを体現した会社の『顔』となっている。自然な『団らん』の場、会社の『顔』、これからのこの会社の中心として「キッチン」が活用される。

PLAN

S=1:200



地元木材を使った
カウンターキッチン



以前のキッチンは
閉鎖的なものだった



エントランスへ続くアプローチ



エントランス、地元の木材を使った空間